

2015 年度第 2 回 GSMaP 研究会プログラム

日時： 2015 年 9 月 1 日(火) 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分

場所： 場所：京都大学理学部 2 号館 1 階第一講義室

(下記リンクのマップ上③の建物)

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html

* 発表時間は(講演 15 分+質疑 10 分)程度を想定しています。

第 1 部 検証 午前 9 時 30 分～11 時 40 分

はじめに： 青梨和正 (気象研)

講演者： 可知美佐子・久保田拓志・沖理子 (JAXA)、荒井頼子 (RESTEC)

題目： GSMaP リアルタイム版と再解析版の評価と現状

講演者： 原田 正輝、重 尚一、山本 宗尚 (京大院理)

題目： 冬季日本海側降水の検証

講演者： 寺尾 徹 (香川大学)・村田文絵・山根悠介・木口雅司・福島あずさ・
林 泰一

題目： インド亜大陸北東部雨量計観測網による TRMM 2A25 降水量の直接検証

講演者： 広瀬正史 (名城大)

題目： 海と陸の降水推定値のバイアス

講演者： 嶋田 宇大 (気象研)

題目： GSMaP で算出した台風の軸対称性と強度変化の関係についての調査

第 2 部 アルゴリズム開発 午後 1 時～午後 3 時 30 分

講演者： 青梨和正 (気象研)

題目： 次世代マイクロ波放射計降水アルゴリズムの開発ー放射伝達 PGM のアップデート等ー

講演者：濱田 篤・高藪 縁(東京大 AORI)

題目：新しい降水タイプ分類手法によるリトリーバル結果の初期評価(2)

講演者：山本宗尚・重尚一(京大院理)

題目：次期 GSMaP 改訂に向けた地形性降雨判定手法の改良

講演者：久保田拓志 (JAXA)

題目：GSMaP アルゴリズムの降雪推定手法の開発(その1)

講演者：妻鹿友昭 牛尾知雄(大阪大学)

題目：GSMaP Gauge NRT のパラメータ最適化

講演者：広瀬民志、樋口篤志(千葉大)、妻鹿友昭、牛尾知雄(大阪大)、山本宗尚、重尚一(京大)、濱田篤(東京大)

題目：ひまわり8号降雨推定プロダクトの広域化と GSMaP

第3部 データ同化 午後3時45分～午後5時30分

講演者：青梨和正、岡本幸三(気象研)、久保田拓志(JAXA)、田島知子、五十嵐崇士(RESTEC)

題目：Neighboring Ensemble に基づく変分同化法を使った2014年台風11号事例へのMWI TBデータの同化実験

講演者：岡本幸三、青梨和正(気象研)、久保田拓志(JAXA)、田島知子、五十嵐崇士(RESTEC)

題目：GPM-Core/DPR 反射因子データ同化の初期結果

講演者：小槻峻司、寺崎康児、Guo-Yuan Lien, 三好建正(理研 AICS), Eugenia Kalnay(メリーランド大学)

題目：NICAM-LETKF を用いた GSMaP 降水量の同化実験

講演者：三好建正 寺崎康児・小槻峻司・大塚成徳・佐藤正樹・富田浩文

題目：GSMaP と NICAM を生かした新たな降水プロダクトの展望

総括 高藪縁 (東大 AORI)